

計画系業務分野における FusionPlace の優位性

計画系業務/システムの特性

- 半定型的な業務であり、システム稼働後も要件変化に継続的に対応していく必要がある。
- Excel が広く浸透しており、それとの連携/棲み分けが大事。
- 通常の業務システムと異なる要件（多軸集計・計画バージョン管理等）…RDBでは実現しづらい。
- データ更新・再集計が頻繁に発生…参照志向のBIツールでは不十分（追加開発要、運用も不便）。

FusionPlace の製品性格

計画/実績管理業務分野に特化したシステム開発・運用基盤であり、経験の中から抽出されたこの分野のシステムに必要な共通機能をビルディングブロックとして提供。

それにより、開発工数を低減するとともに、稼働後もシステムの成長を容易にする。

FusionPlace の優位性（計画系業務にとって重要だが、他のツールでは実現に多大な追加開発工数が必要と思われる機能）

Excelとの ダイレクト連携

- ✓ レイアウト自由のExcelシートを用いつつ中身のデータを集中管理。マクロや複雑な関数を記述せずにExcelシートとデータベースを対応付けし双方向に連携。

リアルタイムで 結果確認

- ✓ Excel から詳細データを更新すると、即座に最新の集計結果を確認できる。高速リアルタイム更新/集計でデータ再ロードや集計バッチ処理を待つ必要なし。

計画データの バージョン管理

- ✓ 不定期に更新される計画値について、適時に新しい「バージョン（※）」を設けて履歴保持可能。バージョン間の差異の抽出も容易。

分散自律型計画 業務のサポート

- ✓ 計画プロセスに参加する各部署が、提出/承認前にプライベートなワークスペース（※）でデータを集計/分析でき、結果はワークフローで繋ぐことができる。

（※）バージョン管理・ワークスペース管理機能は特許取得済みです（特許4395526号）